

令和5年1月24日  
教 育 総 務 課

## 令和4年第4回区議会定例会（代表・一般）における主な質問について

### 1. 議会日程等

会期：令和4年11月28日（月）～12月7日（水）

（1）代表質問 11月28日（月）

[ 質問者：4会派 4名 ]

（2）一般質問 11月29日（火）・30日（水）

[ 質問者：30名 ]

### 2. 主な質問要旨等

別紙「令和4年第4回区議会定例会（代表・一般）における教育（文教）領域の主な質問・答弁の要旨」のとおり。

### 3. 世田谷区のホームページにおける閲覧

区議会本会議における全ての質問及び答弁については、世田谷区ホームページ上の「世田谷区議会」の「議会中継」又は「会議録検索システム」にて閲覧可能です。

※「会議録検索システム」における令和4年第4回定例会の内容については、2月中旬公開予定。

## 【別紙】

## 令和4年第4回区議会定例会(代表・一般)における教育(文教)領域の主な質問・答弁の要旨

## &lt;代表&gt;

※敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
給食費無償化への教育長の認識	自民	加藤 たいき	教育長	区長は20億もの追加財源を伴う給食費無償化に言及したが学校の維持更新には9年度から10年で1588億円が必要だ。教育長はそれでも無償化が最優先と考えるのか。	教育委員会として学校現場の課題を整理し適切に対応する。
校庭の人工芝化のモデル実施	自民	加藤 たいき	教育総務部長	子どもの活動の場の拡充に向け全天候型の人工芝を校庭に導入すべきだ。まずは校庭の狭い学校を対象に、環境に優しい人工芝を用いて速やかにモデル実施せよ。	校庭整備に際し、モデル事業の実施を検討していく。
子どものSOSを逃さない仕組み	自民	加藤 たいき	教育政策部長	区のいじめ認知件数は全国平均と比べ著しく低いが子どもを守る体制構築には万全を期すべきだ。タブレットから学校や教育委員会にSOSを出せる環境を築け。	提案の直接相談できる仕組みの構築を検討していく。
学校給食費の完全無償化の実現	公明	津上 仁志	区長	我が党は、教育費における保護者への負担軽減として給食費完全無償化を求めてきた。今こそ区長は5年度実施に向け決断せよ。	5年度に何らかの方法で実現できるよう検討を進めている。
学校給食費の完全無償化の実現	立憲	桜井 純子	区長	子どもの権利に関する政策は支援対象を限定せず公平に実施すべきだ。区は所得制限を設けない学校給食費の無償化を実現せよ。	5年度に何らかの方法で実現するよう検討している。
インクルーシブ教育実現への決意	立憲	桜井 純子	教育長	国連は日本政府に対して障害の有無で子どもを分ける分離教育の解消などを勧告した。これを踏まえ、インクルーシブ教育の実現に向けた教育長の決意を示せ。	全ての子どもが共に学び、共に育つ環境の実現に尽力する。
学校給食費完全無償化の実現	F行革	田中 優子	区長	急激な物価高騰を踏まえ、子育て家庭への支援を強化すべきだ。区長は5年度に給食費の完全無償化を目指すと議会で答弁したが、実現するとの認識で良いか。	実現に向け検討しており具体的には予算編成の中で判断する。

<一般>

※敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
子どもが通いたくなる学校づくり	立憲	中山 みずほ	教育総合センター担当参事	学校が抱える不登校などの問題を解決するには子どもの視点に立って支援策を考えることが必要だ。区長は子どもが通いたくなる学校づくりにどう取り組むのか。	現状の教育にとらわれない特例校の設置などを検討している。
教員が気軽に相談できる場の充実	あらた	佐藤 美樹	教育総合センター担当参事	多忙な教員が不登校の子どもや保護者と丁寧に向き合うには、心に余裕を持ち前向きな気持ちでいることが大切だ。教員が気軽に悩みなどを相談できる場を整えよ。	相談事業の更なる周知など悩みを抱える教員の支援に努める。
給食における黙食の廃止	F行革	ひえしま 進	教育総務部長	コロナ禍で飛沫防止のため給食中に会話を控える黙食が子どもの心身に与える悪影響は計り知れない。他自治体での緩和の例も踏まえ区は早急に黙食を廃止せよ。	黙食の見直しも含め、状況に応じて適切な対応を検討する。
不登校児の早急な居場所整備	共産	江口 じゅん子	教育総合センター担当参事	保護者よりほっとスクールでの受入を断られたとの相談があるなど不登校児の受皿不足は深刻。実態を把握し、ほっとスクール増設や居場所確保に早急に着手せよ。	4年度中に実態調査を実施した上で居場所の確保に着手する。
改善のない図書館障害者サービス	虹	上川 あや	教育長	私の前回の質問から一年、区教委が守った答弁は対面朗読の再開など一部だけ。6つの答弁は放置した。教育長は区民への裏切りを猛省し改善への決意を示せ。	スピード感を持って対応し、利用者の最善の利益を目指す。
特別支援教室利用者の不安解消	立憲	藤井 まな	教育総合センター担当参事	都の特別支援教室に係るガイドラインにある「原則の指導期間1年」との記載に保護者は不安を感じている。場合により延長可能な実態に合わせ訂正を求めよ。	実際の運営で分かった課題などを都に伝えて改善を要望する。
ヤングケアラーへの確実な支援	生ネ	田中 みち子	教育総合センター担当参事	区は小学5年と中学2年を対象に面接を実施しているが、家族のケアをする子どもの切なる声に寄り添えていない。再度丁寧にやり直し、確実に支援につなげよ。	相談しやすい環境づくりや教員などの支援の質の向上を図る。
区立校での平等な教育機会の確保	新風	つるみ けんご	教育政策部長	子どもが興味や関心を抱いた分野に打ち込める環境づくりは重要だ。区長は特例校の設置で実現を図ろうとしているが、全校で取り組める方策はないのか。	国が5年度から実施予定の研究事業の活用などを検討する。

## &lt;一般&gt;

※敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
区立小学校での動物飼育の促進	公明	佐藤 ひると	教育政策部長	動物飼育は情操教育に有効だが、適切な飼育環境の維持などがハードルとなり半数の区立小では未実施だ。全校実施に向け諸課題への対応を踏まえた指針を示せ。	各校の飼育環境や飼育体制の実態を把握し取扱いを検討する。
障害児への差別をゆるさない！	減税	あべ 力也	教育長	区立校の教員などがダウン症の子どもをダウンちゃんと呼んでいる実態を保護者から聞いた。差別用語であり許されないこの状況に対し、教育長の見解を示せ。	あってはならないことであり、当事者や保護者に深くお詫びする。
教員の労働環境改善への区の認識	立憲	羽田 圭二	教育政策部長	私は区に教員の中途退職や病気休職の増加への対策を求めた。区は再三、心のケアや教員同士の交流などを充実すると答弁している。その対応で効果はあるのか。	学校への支援や業務の見直しを通じ教育環境の改善に努める。
不登校の子どもの受入体制拡充	自民	和田 ひでとし	教育総合センター担当参事	不登校特例校やほっとスクールは学校復帰や社会的自立を目指す子どもの受皿として重要な役割を担っている。利用が増える中、受入体制をどう拡充するのか。	既存施設の活用も視野に新たな分教室などの整備を検討する。
子どもの成長に資する道徳教育	自民	和田 ひでとし	教育政策部長	いじめを未然に防ぐには、相手の立場を考え思いやる心の醸成が重要だ。道徳が教科化された今、区立校では道徳教育を子どもの成長にどう結びつけていくのか。	物事を広い視野で多角的に考えられる子の育成に努めている。
子どもの意見に応える責務	立憲	いそだ 久美子	教育総務部長	池尻小の校庭改修に際し児童から区宛てに128通もの意見や要望が寄せられた。区は保護者を通じてではなく、自分の意見をしっかり表明した児童へ直接回答せよ。	工事の詳細をお知らせする区からのお便りの発行を検討中だ。
制服リサイクルの促進策	立憲	いそだ 久美子	教育総務部長	区立中の制服購入による家庭の負担を軽減すべきだ。学校ホームページに専用サイトを設け当事者間での制服譲渡を促すなど効果的なリサイクルの仕組みを築け。	保護者のSNSを活用したリサイクルの例を学校に紹介する。
区立校で行う空気検査の改善	生ネ	金井 えり子	教育総務部長	アレルギーや化学物質過敏症に悩む子どもがいる中、良好な学習環境を確保するには学校での空気検査の精度向上が大切だ。検査項目を拡充し定期的に測定せよ。	専門業者と相談し有用性を確認した上で実施可否を検討する。

## &lt;一般&gt;

※敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
ネットいじめの未然防止対策	自民	石川 ナオミ	教育政策部長	SNSなどの普及に伴い子どもの間で急増している「ネットいじめ」への対応が急務だ。通報アプリを導入するなど未然防止と早期発見に向けた対策を講じよ。	子どもがネットいじめについて相談できる仕組みを検討する。